

対象地域	フランス リヨン (及びローヌアルプ州)	在リヨン出張駐在官事務所 リヨン日本人会治安情報収集チーム	
		作成日	対象期間
調査方法 新聞	Le Progrès 紙	2012年9月30日	2012年9月
集計情報の流布	未	在留邦人対象に各団体及び在リヨン出張駐在官事務所ルート	
調査項目：	① 邦人対象の治安情報 ② テロなどの一般治安情報 ③ 今月の出来事 ④ その他の情報		

報告要旨

1、邦人対象の治安情報

- A、 一般的傾向
 B、 地区別・犯罪集計結果：補足文書1
 C、 多発の手口と場所の特定、防止策：補足文書2

A、一般的傾向

今月は、脅し・暴力行為が特に目立ちました。親戚や知り合い同士の喧嘩が発展するケースがほとんどですが、他人の悪い態度などを注意したために暴力を受けるケースも見られ、仕返しにナイフで刺し殺すという凶悪事件にまで発展したのがあります。次いで個人宅や商店を狙った空き巣、路上での引ったくり、路上での脅し窃盗、小規模商店を狙った強盗事件が報告されています。

[補足文書1]

B、地区別 治安情報集計結果

地域別に見ると、相変わらずリヨン東地区、特に Villeurbanne 市で発生件数が圧倒的に多くなっています。次いでリヨン北地区、リヨン3区とリヨン5区となっています。

2012年9月集計結果

	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	リヨン東	リヨン西	リヨン南	リヨン北	7 ^e 区	ロワール県	ドール県	合計
殺人事件・凶悪事件															2	1	3
すり																	0
空き巣・盗難			2	1	1	2	2			2			1		1	1	13
置き引き																	0
引ったくり					1				1								2
万引き			1														1
強盗・暴力窃盗	2	1			2					3			1	1			10
窃盗（車・自転車）																	0
カー・ホームジャック																	0
車内盗難							1				1						2
猥褻行為・強姦					1				1	1							3
いたづら電話・迷惑																	0
脅し・暴力行為	2	1	1	1						2		1	5		1	1	15
詐欺（カードなど）																	0
拉致・誘拐																	0
破損・放火		2			1					1			1				5
ストーカー																	0
麻薬取引・所持							1			2					1		4
飲酒／無免許運転			2											1			3
夫婦間暴力										2							2
軽犯罪																	0
合計	4	4	6	2	6	2	4	0	2	13	1	1	8	2	5	3	63

備考欄：

リヨン東→Meyzieu, Saint-Priest, Bron, Vénissieux, Villeurbanne, Saint-Fons

リヨン西→Craponne, Chaponost, Francheville, Tassin, Brindas, Brignais, Ecully, Sainte-Foy-Les-Lyon

リヨン南→Oullins, Pierre-Bénite, Saint-Genis-Laval, Givors, Vernaison

リヨン北→Rillieux, Vaulx-en-Velin, Décines, Caluire, Genas

* 数字はプログレ紙に掲載された軽犯罪の記事の数で、統計的な意味はない。

[補足文書 2]

C. 多発の手口と場所の特定・防止策（新聞による報道記事から）

路上でのひったくり等の盗難被害が数件報告されています。催涙ガスをかけて携帯電話を奪うというケースも見られました。通りでは、カバンやハンドバッグを脇に挟むなどしてしっかりと体につけて持ち、すきを狙われないよう周囲に注意しましょう。携帯電話の使用中は警戒心が薄れがちです。路上で使用するときにはできれば道の脇に寄って道の方を向いて立ち止まり、自分の背後に人が通らないようにしたり、怪しい者が近づいてこないか注意することが必要です。

- ❖ 9月25日に逮捕された3人組は、6月頃からリヨン都市圏のあちこちで起きていた空き巣事件の犯人と見られる。3人は、特に公園などの駐車場で車内に置かれたカバンやバッグを盗み、中に入っている個人宅や企業の鍵を使って、身分証明書などに記載の住所で空き巣をはたらいていた。（プログレ紙9月27日）

① 空き巣、盗難

- 9月5日深夜、Saint-Germain-au-Mont-d'OrのスーパーSparが空き巣の被害に遭った。犯人らはアルコールボトルを50本ほど盗み、車に積んで逃げたもよう。（プログレ紙9月7日）
- 9月7日夜10時頃、リヨン9区Vaise地区で、26歳の女性が1人の男に催涙ガスをかけられ、すきを狙って携帯電話を奪い取られた。（プログレ紙9月9日）
- 9月9日昼頃、Villeurbanneに住む45歳の女性の自宅に42歳の女が空き巣に入り、宝石類を盗んだ。間もなく逮捕された犯人は、借金返済のために空き巣をはたらいて宝石類を盗んだと自供している。（プログレ紙9月11日）
- 9月10日夕方5時頃、リヨン3区Lafayette通りの肉屋経営者の女性が、車の中に置いてあったかばんを盗まれた。かばんの中には商店の鍵が入っていた。同日の夜中、何者かがこの鍵を使って肉屋に忍び込み、金庫に入っていた現金を盗んで逃げた。（プログレ紙9月12日）
- 9月16日午後2時頃、リヨン5区の地下鉄Saint-Jean駅で、17歳の若者が34歳の女性のハンドバッグをひったくったばかりのところを逮捕された。（プログレ紙9月18日）
- 9月19日午前11時半頃、リヨン7区に住む84歳のお年寄り女性の自宅に水道局職員を装った3人組の男が現れ、1人が女性の注意を引き付けている間に共犯者の2人が家の中で金目の物を探した。3人が帰った後、被害者は宝石類や彫像がなくなっているのに気が付いた。（プログレ紙9月21日）
- 9月20日午後、リヨン6区Mongolfier通りに住む85歳の老人女性が自宅で偽の水道局職員の手口による盗難の被害に遭った。事件があったのは午後4時半頃で、水道局職員と名乗る男が被害者の自宅を訪れたため、被害者は男を中に入れた。男が帰った後、被害者は、金庫が開けられ、中身が盗まれていることに気が付いた。（プログレ紙9月22日）
- 9月24日午後3時頃、リヨン6区で盗難未遂。Tronchet通りに住む男性の自宅でドアベルが鳴った。誰も来ることになっていないので男性はドアを開けなかったが、のぞき窓から様子を見てみると、2人の少女が隣のアパートのドアベルを鳴らしているのが見えた。しばらくして、男性は誰かが自宅のドアをこじ開けようとしているのに気が付き、ドアを開けるとさっきの2人組。男性は少女らを捕まえて、その後警察に引き渡した。2人の少女は住所不定の旧ユーゴスラビア出身で、12歳と14歳だと自供している。（プログレ紙9月26日）
- 9月26日、リヨン3区パール・デュー駅で、34歳の男がマルセイユ発のTGVから降りてきたところを逮捕された。男は列車内の荷物置き場に置いてあったラップトップコンピュータを盗んだばかりだった。男は、9月23日にもやはり列車内でパソコンを盗み、鉄道警察の取締りを受けたが、そのときは逮捕されずに精神病院に送られた。（プログレ紙9月29日）

② 強盗・脅し窃盗

- 9月1日午後7時頃、VilleurbanneのRoger-Salengro通りにあるタバコ屋に、武器を持った覆面の男が押し入り、売上金を脅し取って逃げた。幸い怪我人はなかった。(プログレ紙9月2日)
- 9月8日午前2時頃、Villeurbanneで、赤信号で止まっていたオートバイ運転手が2人組に話しかけられ、催涙ガスをかけられた。2人組は被害者を押してオートバイを奪い取るとこれに乗ってそのまま逃走した。(プログレ紙9月10日)
- 9月9日朝8時半頃、リヨン5区の地下鉄Saint-Jean駅で、20歳の若者が見知らぬ男に恐喝された。男は若者にまずタバコ、次に携帯電話、最後に現金を要求し、被害者から現金25ユーロを脅し取った。逮捕された容疑者の男は22歳で、ナイフを持っていたことを認めず、被害者が自ら現金を渡したと話している。(プログレ紙9月10日)
- 9月11日午前4時20分頃、リヨン2区で、22歳の男性から携帯電話を奪ったばかりの2人組の男が警察に逮捕された。(プログレ紙9月12日)
- 9月16日午前11時半頃、Vénissieuxの商店で3人組による強盗事件。犯人の1人はピストルを持っており、3人はレジの現金を脅し取ると車で逃走した。(プログレ紙9月17日)
- 9月21日夜、Loyette(Ain県)のバー・タバコ屋で強盗。事件が起きたのは閉店時で、2人組が経営者のこめかみに拳銃を当てて脅し、売上金(6,7000ユーロ)を奪い取った。(プログレ紙9月23日)
- 9月24日夜7時頃、CaluireのFrançois-Peissel通りにあるバー・PMUに、覆面の2人組が押し入った。1人はピストルを持っており、レジの現金だけでなく店の奥の金庫にあった現金を奪ってスクーターで逃げた。犯行時、数人の客がいたが、幸い怪我人は出なかった。(プログレ紙9月25日)

③ 暴力・窃盗事件

- 9月16日午前4時頃、リヨン1区のHyppolite-Flandrin通りで、窓を開けて車を運転していた男性が車内のカバンを盗まれた。男性がカバンを取り返そうと車を降りたところ、10人ほどのグループに取り囲まれて争いになり、軽い怪我を負った。被害者は警察のパトロールに同伴して、争いの後逃げたグループのうちの2人を見つけることができた。そのうちの1人が窃盗をはたらいた疑い。(プログレ紙9月17日)
- 9月22日深夜、リヨン1区のRépublique通りで、15歳と21歳と24歳の若者3人組が警察に逮捕された。3人はその直前に、ローヌ川の対岸で22歳の男性からiPodとゴールドのチェーンを奪い取った疑い。(プログレ紙9月25日)
- 9月23日午後1時20分頃、リヨン5区で、13歳から19歳の少年5人組が逮捕された。5人は、17歳の少年から携帯電話を奪ったばかりだった。所持品の中から、奪われたばかりの携帯電話と、もう1機前日にリヨン1区のColbert広場で起きた窃盗事件で盗まれた携帯電話が見つかった。(プログレ紙9月26日)

④ 脅し・暴力

- 9月11日午後2時半頃、Givors市にあるショッピングセンターの駐車場で、同市市議会議員が身障者専用スペースに駐車した非身障者の若者に注意をしたところ、若者が怒って議員に殴るなどの暴力を振るい、車でその場を去った。議員は眼窩底骨折の怪我を負った。27歳の若者はその後逮捕された。(プログレ紙9月14日)
- 9月25日夜、リヨン1区のComédie広場で、25歳の男性と22歳の女性が、18歳の3人組に暴力を受けた。被害者の男性が3人組の態度を注意したことが原因とみられる。3人は間もなく逮捕された。(プログレ紙9月27日)

2.テロなどに関する一般治安情報

特になし。

3. 在留邦人の被害事例

ローヌ＝アルプ州における被害報告は特になし。

4. 今月の出来事

イスラム教の預言者ムハンマドを侮辱する動画がインターネットで公開され、リビア米国大使が襲撃事件により死亡するなど、世界各地で緊張が高まっている中、風刺画で有名な仏週刊誌「シャルリー・エブド」が掲載したムハンマドの風刺画に対し、フランスのイスラム教徒はこれを挑発と受け取り、抗議の声が高まっている。ソーシャルネットワークを通じて、9月22日（土）にパリおよび地方の数都市で抗議デモへの参加呼びかけが行われているが、仏政府では、自制を求めるとともに、在外公館の警備を強化するなど対応している。（プログレ紙9月20日）

9月22日に、リヨン南部地区を運行するトラムトレインの開通式が行われた。9月24日から Lyon-Saint-Paul / Arbresle / Sain-Bel の運行が開始され、12月には Lyon / Brignais が開通する予定。（プログレ紙9月23日）

9月28日夜9時頃、グルノーブル（Isère 県）郊外の Echirolles にある Villeneuve 公園で散歩をしていた20歳と21歳の幼なじみの若者2人が、15人ほどのグループに襲われ、ナイフで刺されて死亡した。被害者は、最近頻りに報告されているライバルグループ同士の争いとは全く関係ない、ごく普通の学生だった。この極めて激しい暴力行為の原因は、同日の夕方、Echirolles にある高校で、下校ときに1人の高校生（被害者の弟）が当該グループを「にらんだ」として起こった喧嘩にあるとみられる。（プログレ紙9月30日）

5. その他の情報

ヒトスジシマ蚊：引き続き警戒が必要

ARS（Agence Regionale de Sante：州保健衛生事務所）は、ローヌ＝アルプ州で引き続きヒトスジシマ蚊駆除のための警戒を呼びかけている。今夏、当州のロワール県を除く全県でヒトスジシマ蚊の存在が確認された。同事務署では、自宅の周囲に、蚊が産卵しやすい溜め水（庭やベランダ等に置きっぱなしにした物、植木鉢の受け皿など）を作らないよう各自に要請している。特に今の時期は天候が雨と高温の繰り返しで蚊が繁殖しやすく、またバカンスで当州を訪れる旅行者の車に紛れ込んでの蚊の移動も見られるためだ。2011年に同州でチクングニヤ熱の症例が2件、デング熱の症例が5件確認されたが、いずれも伝播によるもので、ローヌ＝アルプ地方ではまだ土着感染は報告されていない。（プログレ紙9月5日）

10月6日から11月11日までの5週間、トラムウェイ T3 とローヌエクスプレスの運行が完全にストップする。この間、T3 路線についてはバス 30 本あまりの代行運転が予定されており、始発は 30 分早まる。平日の日中は 5 分から 10 分間隔で運行する。停留所も T3 の停車駅にできるだけ近い場所に設けられるが、T3 「Gare de Villeurbanne」駅はバス C3 路線の停留所「Montchat-Place ronde」に、また T3 「Bel-Air les Brosses」駅はバス C17 路線の停留所「Villeurbanne-Bel Air」に移る。また、ローヌエクスプレスについても、同じ時間帯・時間間隔でパール・デュエ駅（Francfort 広場）・サン＝テグジュペリ空港間の直通バスが代行する。バスは、ローヌエクスプレス路線では停車していた途中の Vaulx-en-Velin/La Soie 駅と Meyzieu ZI 駅には止まらない。また、所要時間も 50 分から 1 時間と、30 分を大幅に超えることが予想される。発車は 1 日中、ほぼ 15 分ごと。（プログレ紙9月22日）

9月20日から、リヨン市内で、キャッシュカードによる支払いができる新しいパーキングメーターが試験的に導入され、リヨン2区の Jacobins 広場周辺の Brest 通りと Président Edouard-Erriot 通りに設置された。こうして、小銭がないと払えないという不便さはなくなるが、カードでの支払いは1日20ユーロが限度だ。今回の試験的な設置は2013年2月まで続き、計11台を使って行われる。（プログレ紙9月27日）